

“衆議院解散へ”

1月23日解散、2月上旬総選挙へ

**国民生活よりも党利党略を優先した大義なき解散。
新党「中道改革連合」を結成し、高市政権に堂々と対峙する！**

1月23日召集の通常国会で、高市総理は、施政方針演説や来年度予算案の審議を行うことなく、冒頭で衆議院を解散し、2月上旬に総選挙が行われることになりました。これにより、来年度予算案や税制改正関連法案の年度内の成立は困難となります。政府は、国民生活への影響を避けるために暫定予算を組んで対応する事になります。本予算成立が大幅に遅ければ、新年度の4月からスタートする予定の公立小学校の給食無償化や私立高校の就学支援金の所得制限撤廃、軽油引取税の暫定税率廃止、年収の壁引き上げなどに影響が出る可能性があります。

通常国会の召集が1月になった1992年以降、冒頭で解散した例はありません。歴代の政権が、国民生活に直結する本予算の年度内成立を最優先課題としてきたからです。高市総理自身も、これまで物価高対策や経済対策に最優先で取り組む姿勢を示し、速やかな予算成立を目指すと言っていました。なぜこのタイミングなのか、なぜ3月末の予算成立後に判断しなかったのか、全く理解できません。一昨年の衆議院選挙からわずか1年3カ月、任期4年の折り返しにも達していない中で、600億円もの税金を使って、3年連続となる国政選挙をやる必要があるのでしょうか。予算委員会審議で追及を受ける前に、支持率が高いうちに議席増で政権基盤を強めたいという思惑があるのではないのでしょうか。国民生活よりも党利党略を優先した大義なき解散と指摘せざるを得ません。

私たち立憲民主党は公明党と新党「中道改革連合」を結成することになりました。世界では極端な思想や社会の不安を利用して、分断を煽る政治的手法が台頭し、社会の連帯が揺らいでいます。日本でも急進的な言説が目立ち始め、多様性を尊重し、共に生きる社会を築こうとする努力が脅かされています。私たちは、“対立と分断”ではなく、“包摂と共生”の社会を目指してまいります。

来るべき総選挙では、日本維新の会と連立を組む右派色の強い高市政権に対し、しっかりと中道改革路線の旗を掲げて臨んでまいります。



今年も駅頭から始動



笠ひろふみ

りゅう 衆議院議員 元文部科学副大臣

■ 笠ひろふみ後援会事務所(笠友会)

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1644-1
新川ガーデンビル1F

TEL.044-900-1800 FAX.044-900-1011



(旧)Twitter



Facebook



HP

■ 国会見学受付中

お一人でもグループでもお気軽にお申込みください。
随時受け付けております。お申込みは左記事務所
TEL.044-900-1800までお願いします!



野党第一党の国会対策委員長として与野党協議の先頭に立つ!!

▼ ガソリン暫定税率廃止を実現

野党7党で共同提出した「ガソリン暫定税率廃止法案」を直ちに成立させて、年内に廃止する方針を確認し、与野党国会対策委員長会談で強く申し入れました。



野党国会対策委員長会談 10月22日



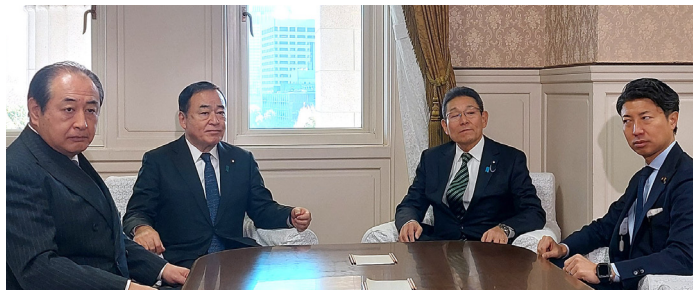
与野党国会対策委員長会談 10月22日

⇒11月28日に廃止法が成立し、ガソリン税の暫定税率(1リットルあたり25.1円)は12月31日で廃止され、軽油引取税の暫定税率(1リットルあたり17.1円)も今年の4月1日から廃止されることになりました。51年ぶりの廃止は参院選での与野党逆転の成果です。

▼ 政治改革について

自民・維新は唐突に衆議院議員の定数を1割削減する法案を提出しました。与野党協議が1年経ってもまとまらなければ、小選挙区25、比例区20を自動削減するとの内容です。定数削減は必要ですが、与党2党だけで結論ありきの乱暴なやり方は断じて許されません。現在、衆議院議長の下に「選挙制度に関する協議会」が設置され、全ての党派が参加して、選挙制度のあり方と定数の問題について協議が行われています。ここでしっかりと議論して幅広い合意形成を目指すべきです。

一方、企業団体献金の規制強化については、結論が出ずに先送りされました。通常国会では、政治とカネの問題に決着をつけることを最優先に取り組んでまいります。



自民党との国会対策委員長会談 12月8日

政治改革特別委員会では、企業団体献金の規制強化法案の審議を優先して行う方針を確認しました。この後、自民党の梶山国会対策委員長と会談し、企業団体献金の問題が決着するまで定数削減法案の審議には応じられない旨を伝えました。

国会対策委員長は国会対応の司令塔です!

野党第一党として、審議日程などについて野党内の調整を図り、与党との交渉を行います。党(会派)内の議員の委員会配置や本会議の登壇者を決める最終責任者です。



本会議前に開かれる代議士会で国会の動きなどについて説明します



予算委員会が開かれる日は朝8時から質問について打ち合わせします



マスコミ対応も国会対策委員長の重要な仕事です

超党派「デフリンピック東京大会推進議員連盟」総会 [12月9日]



りゅう
笠は会長代行として大会成功に向けて応援してきました。観客は10万人の目標を大きく上回る約28万人。日本選手団は過去最多の金メダル数16個、メダル総数51個を獲得するなど大活躍でした。



横浜市立北綱島特別支援学校 [12月15日]



学校図書館議員連盟の事務局長として特別支援学校の図書館の現状を視察しました。